

視察（研修）報告書

平成31年2月12日

府中市議会議長 様

会派名又は
議員名 創生会

日 時	平成31年2月5日（火）
視察（研修）先	高知県農業協同組合
視察（研修）項目	高知県のショウガ生産の取り組みについて
参加者	会派議員6名
視察（研修）内容	<p>(1) 計画策定の背景と経過</p> <ul style="list-style-type: none">・高知県のショウガ栽培量は全国一位で、年間17.025t。年間降水量と日照時間が全国的に見ても多く、ショウガ栽培に適した環境条件であるため、高知県内に広く作付けされている。中でも四万十では昭和43年ごろから栽培が始まり、最大300haの作付けが行われているが、近年では高齢化も進んでいる <p>(2) 具体的な取り組み事例</p> <ol style="list-style-type: none">① 圃場準備を1月から3月に始め、土づくりと消毒をし、病気に対するの予防をする② 4月に植え付け、その後はまだ寒い時期なので不織布を敷き、ショウガを寒さから守り芽が出るのを助ける③ 5月～6月に追肥、中耕を行い空気を入れてやる。追肥には鶏糞が良いとのこと。そして土寄せを行う。④ 7月～9月に敷き藁、灌水、追肥、風防止にきゅうり用のネットを張る。茎が折れると成長が止まる。⑤ 霜が降りるまでに収穫。ショウガの貯蔵については、予冷库内、温度は13～15℃、湿度90%で管理。 <p>(3) JAと各企業との連携の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none">・ここ数年のショウガブームにより、様々な商品がでている。特に「ダイエット」や「健康」の食材として人気が高まり、各企業と連携している。 <p>(4) 市民への理解度</p>

	<p>・高知県はショウガ作りの歴史もあり、消費量も多く理解度は高い。</p>
<p>所 感</p>	<p>高知県 JA も 31 年 1 月に全域合併し、ショウガにかける思いは強い。府中市の特産品にするにはまだまだほど遠いが、生産方法については大変参考になった。今回学んだことは府中市の生産者に伝えていきます。</p>